

簡単にできるおすすめ科学活動

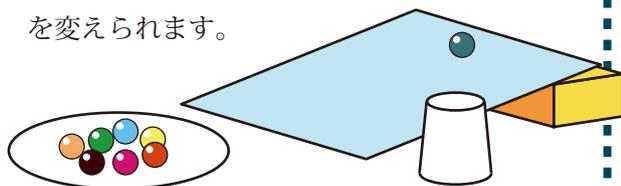
小動物やムシを飼ったり、植物を育てたりといった、生物領域の学びはたくさんあります。そのほかにも、簡単にできて、しかも子どもたちが様々な工夫ができる科学に関係した遊びはたくさんあります。ここではその一部を紹介します。

ビー玉カーリング

疑問 斜面を滑らすにはどうしたらいい？

準備物 ビー玉、厚紙、円を描いた紙、紙コップ、乾電池

活動例 厚紙やテーブルを斜めにしてビー玉を転がし、円の中においたビー玉をはじき出すゲームをしてみましょう。ジャンプ台や障害物を作ってもおもしろいです。ビー玉に紙コップかぶせると、紙コップが滑っていきます。中に入れるビー玉の大きさを変えたり、ビー玉の数を増やすと、よく滑るようになります。乾電池を入れると、もっとよく滑ります。斜面の角度を変えると、紙コップが滑る速さを変えられます。

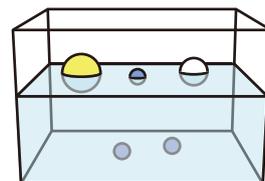


ものの浮き沈み

疑問 浮かぶものと沈むものは何が違う？

準備物 水槽、浮かべる材料（ピンポン玉、ボール、スプーン、釘、木片など）、はかり

活動例 水槽に水を張り、いろいろなものが浮かぶか沈むかを試してみます。浮かんだものと沈んだものは分けておきます。子どもたちには、どんなものが浮かんで、どんなものが沈むかを考えさせます。重いものが沈むという意見が出たら、はかりで重さを量って、軽くても沈むものがあり、重くても浮かぶものがあることを確かめて、話し合いを深めましょう。活動が終わったら、木片やスチロールのトレーで船造りをしてもおもしろいでしょう。



糸電話の探究

疑問 糸電話で声はどうして伝わる？

準備物 紙コップ、糸、針金、紙テープ、木の棒、石

活動例 糸電話を作って遊びます。糸がピンと張っているときと垂れているときの違い、糸が何かに触れているときと触れていないときの違いを考えます。糸の代わりに、針金や紙テープなど、いろいろな素材を使ってみましょう。糸電話の探究が終わったら、テーブルの端を木の棒や石でたたいて出る音を、反対の端に耳を当てて聞いてみましょう。園庭に出て、様々な遊具をたたいて、その音を聞いてみます。どうやって音が伝わるのか、絵を描きながら考え、意見交換します。



飛べ紙トンボ

疑問 紙トンボはどうすれば高く飛ぶ？

準備物 厚紙、ストロー（曲がるストローでないもの）、ビニールテープ、ハサミ

活動例 牛乳パックなどの厚紙を長方形に切り、中央に一穴パンチで穴を開けて、ストローを通します。ストローの先端をハサミで切って広げ、セロテープで貼り付けると、簡単に紙トンボができます。羽をひねると空中に舞い上がり、羽の先端にビニールテープをつけると、回転に勢いがつきます。上手な子に、作り方のコツを聞いてみましょう。穴を開ける位置、軸のつけ方、羽のひねり方などを工夫すると、よく飛びます。

